

9月 長月、時の経過が 凄まじく速く、ロンドンオリンピックは遠い昔の事のように感じます。

最近 日本の国際問題として“竹島・尖閣諸島の領土問題”、更に“原発の問題”が クローズアップされますが「『日本人の我々が考える当然の常識』が 外の世界に通じない事、こんな状況の中で『妥協点を見出し 摩擦を最小限に抑え 交渉事を成す事』、方向付けを持ち『国民を路頭に迷わす事無く 説得・納得させる事』」平和ボケの日本、野田佳彦首相をはじめ 日本国執行部の大変な仕事です。

「HbA_{1c} 測定の国際標準化に関するわが国の対応」[康寿診報172号 P1 参照] この中に 我が国の糖尿病のトップリーダーとされる方々が 勇気・自信・信念を持ち医療人として“嬌やか”に処してきた過程、天晴れと申し上げました。“組織の纏まりについて 多くを問われる事態”が散見される中で「現実の中での妥協と実行力」組織力の成した見習うべき範例として 学ぶ事が多く在りました。

榛原医師会の状況、副会長との面談の内容等 「“事”を“無”とするので無く 処していただく」とし、会長 高木平氏 両副会長をはじめ 執行部には 「“時”の経過 これ以上待て無い状況である事」を 何度も告げております。「“非”があれば訂正する事」、我が医師会の成すべき事 先ずは 正確な「議事録の提示」を成す事です。医師会執行部には「静岡県医師会報を参照し 正確な議事録の提示を」と願いました。

浜岡原発の問題が クローズアップされる中、まず 我が町 吉田町が成す事 第一義は何か、津波避難タワーの建設より先に「吉田町で “ヨウ化カリの備蓄がなされる事”」早急に成すべきです。

私の “直なる言動” 「人間 懸案事項に向かう時 特に Negative な内容であれば尚更 己を質し Openに 誤魔化し無く 前向きな道を開き・導けるか」と 考え行動している。誤魔化し・責任転換の横行 これら明らかかな間違いなら 許してはならない事、たとえ 相手の“器”これが透けて見え 相手が私を避けて通そうとしても、“場”を避ける事 無く 質す [=正す] 事、怯む必要は無い、当然 反動・反発が デカいのは事実であるが...、この一時の「情けは人の為・社会の為ならず」訂正していただく。正確にストレートにぶつけていこうと考えている。

Jリーグ ジュビロ磐田 残り試合もわずか 首位も狙える位置、“負けないジュビロ”、優勝を願います。

康寿診報171・172号 送らせて頂きます。

平成24年9月17日

加藤寿夫 通称: 寿(=寿実寿美)

P2,3は「平成24年6月25日開催 榛原医師会 第106回定期総会」に於いて榛原医師会会長 高木平氏の冒頭挨拶[榛原医師会広報 第405号 2012年7月号 トップページのコピー]

P3 右下には 私が直訴に添付した文面。P4は「雅寿の文言(61)~(63)」を提示します。

《平成24年9月 康寿診報 第171・172号 送付文》